

HSK

いちばんぼし

臨時号

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK 通巻558号

発行 平成30年9月10日 (毎月10日発行)

<編集人>〒064-8506

北海道札幌市中央区南4条西10丁目

北海道難病センター内

全国膠原病友の会北海道支部

TEL 011(512)3233 FAX 011(512)4807

<http://kougen-ht.com>

<発行人>北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定価 100円 (会費を含む)

**2018年9月6日に発生致しました
北海道胆振東部地震に被災された方々に
心よりお見舞い申し上げます。**

医療講演会 (苫小牧市) のお知らせ

10月サロン中止のお知らせ

この度の北海道胆振東部地震により被災されました会員の

皆さん、ご家族の皆さんに、心よりお見舞いを申し上げます。

9月6日、まだ薄暗い早朝3時過ぎの地震。胆振日高地方を中心に北海道の広い範囲で大きな揺れを感じました。部屋の中で「物が落ちる、倒れる」を経験された方はたくさんいたと思います。本当に恐ろしい地震でした。

地震が収まった少しあとから、北海道全域での停電。広い範囲での断水。まさかこの広大な北海道「全域」で停電になるとは。まだ暗いのに灯りがつかない。テレビも見られない。日常生活がどれほど電気に依存しているか。思い知らされました。

避難所へ避難された方、自宅で不自由な生活を強いられた方、少しでも被害の少ない地域にお住いの親戚・お知り合いのお宅に身を寄せた方。それぞれの方法で、この緊急事態を乗り越えられたことと思います。お怪我をされた方、体調が悪化した方、お薬や必要な治療を受けられず困った方、いらっしゃいませんでしたでしょうか。災害はまたいつやってくるかわかりません。今後の私たち自身の学びのため、国や北海道、地方自治体への情報提供（災害時の難病患者の状況、対策の必要性）のためにも、是非教えてください。

多くの地域で停電・断水が解消された頃から、震源地周辺にお住いの会員さんにお見舞いの電話をさせていただきました。大変な時にお時間をいただき、ありがとうございます。私がお話した限りでは、お怪我をされた方が1名いらっしゃいましたが、深刻な病状悪化を呈された方はなく、本当にホッとしました。

ただ、まだ余震は続いています。断水や道路の通行止めの残る地域もあります。家屋の被害への対応もこれからです。農作物や酪農への被害の深刻さは、今後長く影響することが予想されます。まだまだ「地震の被害は終わった」とは言えない日々です。今「特に体調も変わらない」と思ったとしても、これから影響が出る可能性もあります。これから寒くなる季節、体調の変化にくれぐれも気を付けて、お大事にお過ごしください。

被災の状況に応じて、会費の免除ができる場合がありますので、該当される方は申請書を提出ください。（詳細は3ページをご覧ください）

支部長 岡本由加里

医療講演会（苫小牧市）

9月9日に予定していましたが、地震のため延期となりました。

新しい日時：10月14日（日）9:30～11:30

（受付開始：9:00）

場所：苫小牧市民活動センター

（苫小牧市若草町3丁目3-8 TEL 0144-32-7111）

参加費：無料

共催：全国膠原病友の会北海道支部、北海道難病連苫小牧支部

問合せ：北海道難病連 TEL 011-512-3233

北海道難病連苫小牧支部 谷本さん TEL 090-3392-9233

お知らせ（サロン）

10月11日（木）に予定していたサロンは

会場の都合がつかず、中止となりました。

次回のサロンは11月8日（木）11:00～15:00となります。

場所はいつもと同じ難病センター会議室です。

被災による会費免除のお知らせ

この度の平成 30 年北海道胆振東部地震により、被害を受けられました地域の皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈りいたします。避難所等で避難生活をしておられる方は、下記友の会事務局までご連絡ください。

災害の影響によって会員の方が退会せざるを得なくならないように、全国膠原病友の会では引き続き“被災による会費免除”を行っております。

〔被災による会費免除の対象者〕 ※北海道関連分抜粋

〔平成 27 年 4 月以降に「災害救助法」の適用になった災害〕

- 平成 28 年台風第 10 号に対して（8 月 30 日）
- 平成 30 年北海道胆振東部地震に対して（9 月 6 日）

◎上記の「災害救助法」の適応になった災害において被災された方は、次ページの「会費免除申請書」をコピーいただき必要事項を記載のうえ、全国膠原病友の会事務局まで提出ください。追ってご連絡させていただきます。

※該当者については平成 30 年度の会費一年分を免除します。

すでに会費を支払われた対象者は次年度の会費とします。

※最近では上記の災害以外にも自然災害が各地で起こっています。

上記以外の災害で被災された方で会費納入が困難な方も検討させていただきますので、事務局までご連絡ください。

〔事務局住所〕 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-4-9-203

（一社）全国膠原病友の会事務局 宛

（問合せ先電話：03-3288-0721 までお願いします）

〔被災による会費免除申請書〕

申請日：平成 年 月 日

一般社団法人 全国膠原病友の会
代表理事 森 幸子 様

申請者氏名	
申請者住所 (現住所)	〒
避難・転居前 の住所 (住所が変更になっ た方のみ)	〒
所属支部名	
連絡先電話	
申請理由 添付書類等 ※右欄の番号 を○で囲ん でください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「り災証明書」がある場合は証明書の写しを添付してください。 2. その他に証明できる書類のある場合は写しを添付してください。 3. 証明書のない場合は理由を下に記載してください。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> { } </div>

緊急アンケート

おしえて○○○？

地震で思ったこと、地震の教訓

この度の地震で皆さん様々な困難に直面したと思います。皆さんが思ったこと、ご自分の反省や教訓（良かったことも含めて）、行政に対し言いたいこと、友の会皆で共有したいこと、どんなことでもお寄せください。またいつ起こるか知れない災害のために生かしましょう！

・回答の宛て先

郵送：064-8506 札幌市中央区南4西10 北海道難病センター内
全国膠原病友の会北海道支部 宛

FAX：011-512-4807（難病センター）

SMS（ショートメール、Cメール）：090- (岡本)

Eメール：hokkaido.ichibanboshi@gmail.com

どの方法でもかまいません。

- ・右ページ用の紙を切り取ってお使いいただくか、ご自分の便箋等を利用しても構いません。（FAXの場合裏表に注意）
- ・送っていただく際は、テーマ「地震で思ったこと」とお名前を必ず書いてください。掲載はペンネームや匿名も可です。希望の場合はその旨お書き添えください。
- ・〆切は10月15日としますが、それを過ぎても送っていただければ次の号のいちばんぼしに掲載します。

テーマ「地震で思ったこと、地震の教訓」

キ
リ
ト
リ

お名前 _____

(ペンネームご希望の場合はペンネーム _____)

〆切：10月15日

HSKいちばんぼし

昭和 48 年 1 月 13 日 第三種郵便物承認

発行 平成 30 年 9 月 10 日 (毎月 10 日発行) HSK通巻番号 558 号